

ふたばこども園

園 便 り 5 月 号

ふたばっ子

令和4年5月1日発行

文責 園長 納富博文



しょうぶ

※園日より「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。

旭学園「校祖祭」・「創立記念日」

旭学園は今からさかのぼること125年前の1897年（明治30年）に、校祖 中島ヤス 先生が近隣の子女の切望により家塾を創設されたことが始まりです。

旭学園では、毎年5月18日を「創立記念日」と定め、前日の17日に「校祖祭」を行い、中島ヤス先生の遺徳を偲び、建学の精神を次代に引き継いでいます。

中島ヤス先生は、朝の太陽が空に昇るがごとく校運隆々(コウソウリュウウ)となることを願われましたが、太陽の光が万民に等しく降り注ぐように、この学園の教育がすべての子どもたちに公平無私(コウヘイムシ)であることを願われて、『旭』学園と名付けられました。これが『旭』学園の由来です。



校祖 中島ヤス先生



旭 学 園 全 景

個人情報保護へのご理解とご協力を

今日いろいろな情報伝達アプリが発達し、世界中のニュースや様子を瞬時に知ることができます。また、家族や友人等と情報の伝達や共有も手軽にできるようになりました。そうしたアプリは大変便利で日常生活において欠かせないものになっています。利便性が高いがゆえに、利用の仕方を一歩間違えると大変危険な事になりかねません。SNSやLINEを利用した犯罪が身近でもたくさん発生し、後を絶ちません。

サイバー官の知人は、「写真や動画の情報はパソコンやスマホ等の電子機器に少し詳しい人であれば、どこで撮影されたものかすぐ分かる。その場所から人物を特定して悪用していくことなど簡単なこと。また、拡散された情報を削除することはなかなか難しく、拡散のスピードに追いつけない。」とっていました。

個人情報や間違った情報、誹謗中傷が一端拡散されてしまうと、本当に取り返しのつかないこととなります。SNSやLINE等に「ただアップしただけ」と、アップした人は気楽に考えているかも知れませんが、された人にとっては、大変な迷惑なこともかもしれません。

園ではそうした状況を心配し、「自分の子どもさん以外や園の職員、園舎などが写っている写真や動画は極力撮らないようにしてください。また、SNS等への配信は厳に控えてください。」とお願いしているところです。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

コロナ禍での園行事にご理解を

オミクロン株によるコロナ感染が相変わらず高い陽性者数で推移しています。佐賀県は人口10万人における陽性者率、全国ワースト2位という不名誉な状況になりました。10代未満や10代の陽性者数がとても多いということが気がかりです。感染しても重症化しないというのはものの、どんな後遺症があるのかまだわかっていません。感染しない方が良いと思います。また、ご家族の中には高齢者や基礎疾患をお持ちの方もおり、子どもからの家庭内感染があるかもしれないと心配されているところもあります。

コロナが流行し始めて3年が経過しました。いつまで我慢すればいいのか、いつまでマスクが取れないのか、本当に我慢も限界になりますし、緊張感も切れてしまいます。園の行事や教育・保育も同じです。コロナの流行により中止したり、内容の縮小や人数の制限をしたりしました。そうすることで、保護者の皆様にはいろいろな我慢やご協力をお願いすることばかりだったと思います。お陰様で、300人も在籍する規模の園にしては、子どもたちや職員に感染する数が少ないと、県の保健所や市保育幼稚園課から褒められています。

これからも続くと思われるコロナ禍の中で、これまで何回もお知らせしてきたように、園の行事等はあくまでも「子どもを中心に」を基本として計画し、実施をしていきたいと思えます。「子どもの安全や健康を第一に」、「子どもにとって行事にどういう意味があるのか」、「子どもの成長や発達、実態はどうか」、「行事ありきの教育・保育になっていないのか」など、様々な見地から検討を行い、コロナ禍でできる内容や方法を精選しながら実施していきます。保護者の方の「見たい」や「楽しみたい」などのお気持ちに添えないこともあると思えますが、どうぞご理解のほどをよろしくお願いします。